

モビリティ・マネジメント プラン（仮）の検討

2022年12月26日

目次	1. 前回振り返り：①モビリティ・マネジメントとは	… P.2
	：②取り組みの目標	… P.3
	：③取り組みの進め方	… P.4
	2. MMプラン（仮）作成の意義：①他都市事例	… P.5
	：②さいたま市版	… P.6
	3. MMプラン（仮）の構成案	… P.7
	4. MMプラン（仮）の全容ロードマップイメージ	… P.8
	5. MMプラン（仮）への記載イメージ：①分析	… P.9
	：②施策カルテ	… P.10
	：③スケジュール	… P.11
	6. 今後の取り組みの進め方	… P.12

1. 前回振り返り：①モビリティ・マネジメントとは

一般的にMMとは…

ひとり一人のモビリティ（移動）や 個々の組織・地域のモビリティ（移動状況）が、
社会にも個人にも望ましい方向に自発的に変化することを促す、

コミュニケーションを中心とした多様な交通施策を活用した**持続的な一連の取り組み**

さいたま市のMMの解釈

(案)

さいたま市における日常的な移動を、

自動車に頼りすぎている状態から、

鉄道やバス、自転車、徒歩などの**様々な交通手段も適度に利用する状態へ、**

行動を少しずつ変えていくための **コミュニケーションを中心**とした働きかけ

- ✓ 解釈からも“現状”と“目指すこと”が見えるように
- ✓ 取組の中心は“コミュニケーション”であることが伝わるように

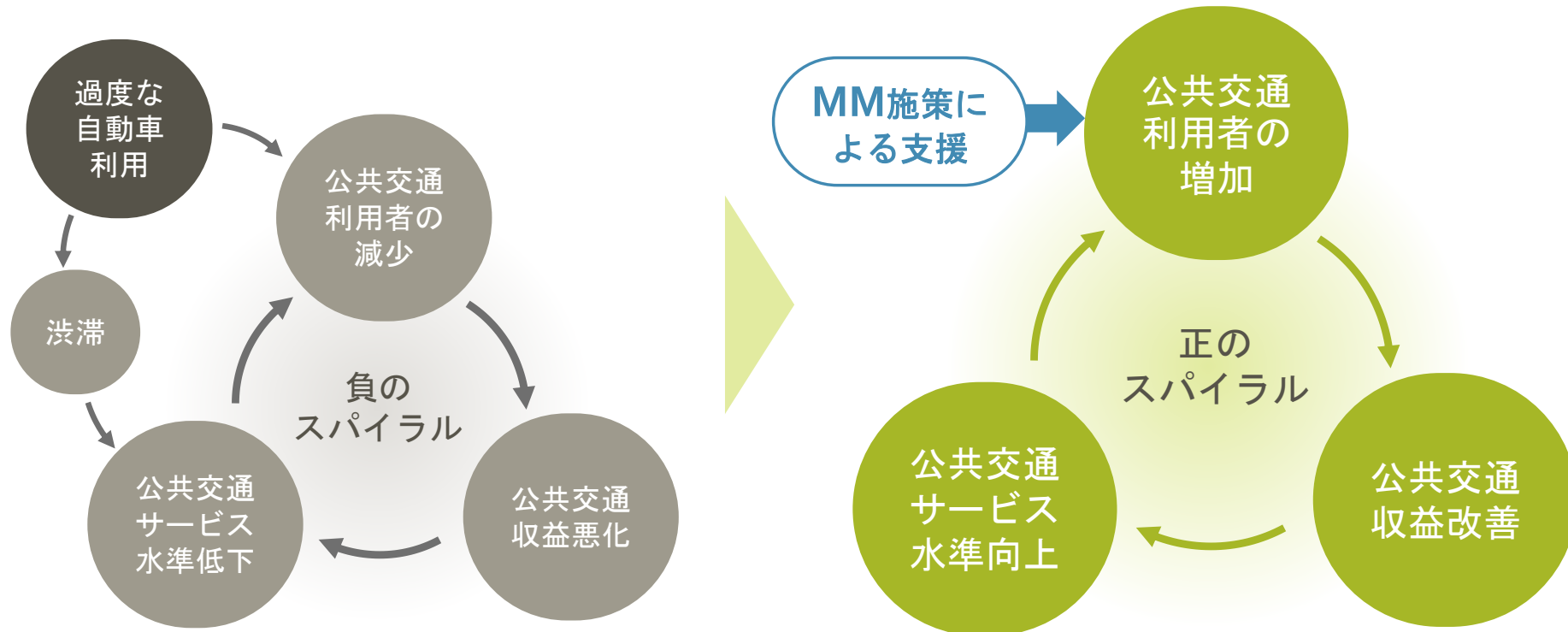
と整理する

1. 前回振り返り：②取り組みの目標

- 取組全体の目標として『公共交通の維持確保に向けた利用促進』を掲げる
- 目標のもと、**効率的・効果的に施策実施すること**で、公共交通を維持し、サービスの停滞・廃止を招かない**正のスパイラル**を回していくことを目指す

✓ 公共交通の現状・地域公共交通計画の主旨からも、維持確保が最優先であり、利用者数のベースアップが必要

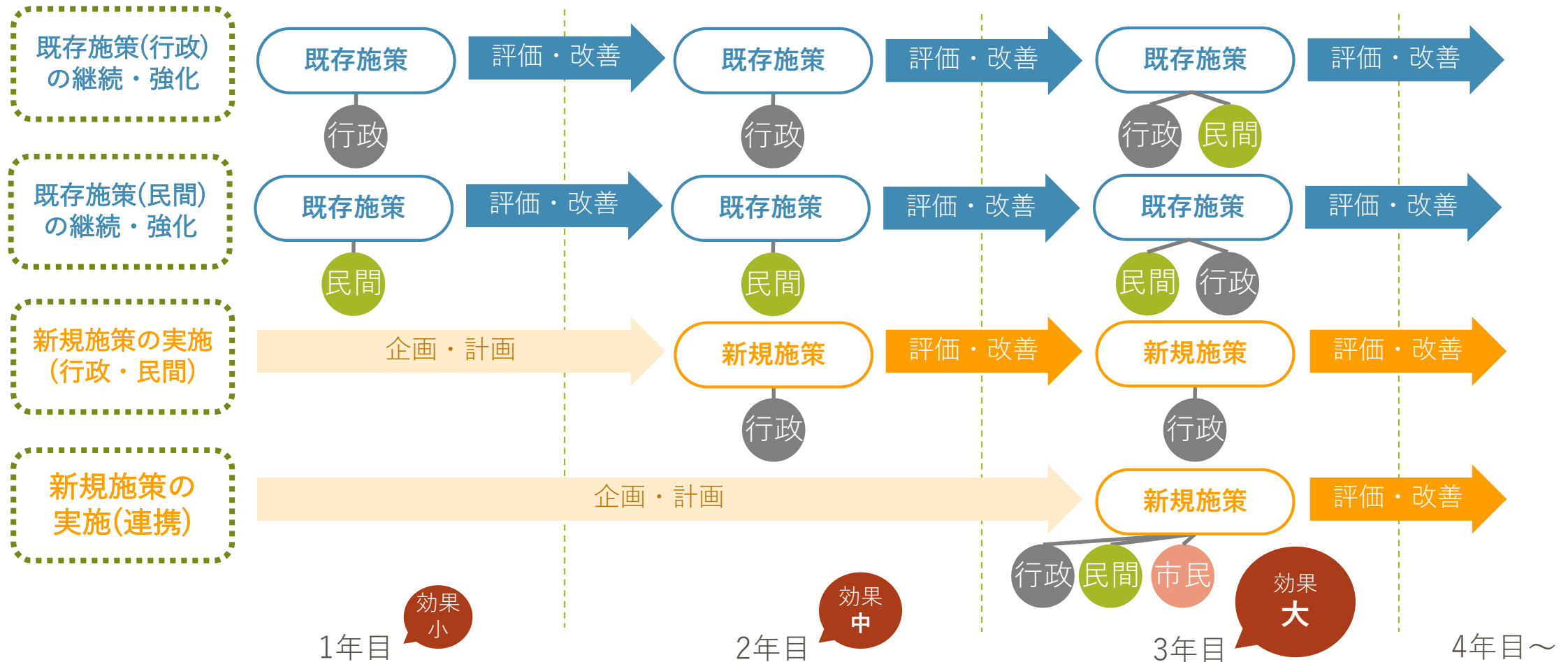
MMプラン(案)の作成



1. 前回振り返り：③取り組みの進め方

MMプラン(仮)の作成

- MMは公共性・公益性の高い取組が多いため、協議会での合意形成を図りながら、**取組全体を整理し、共有**する
- 目標達成のために、**民間事業者や地域・市民とも協働**して施策に取り組み、さらなる**推進・発展**を図る



2. MMプラン（仮）作成の意義：①他都市事例

MM実施計画（春日井市(人口31万人(さいたま市の0.24倍),面積92.8km²(同0.43倍))

① 計画の位置づけ

- 春日井市内部や関係者での意識共有・確認を図るために作成
- 今後3ヶ年の実施方針と具体的な取組内容の方向性を定める内部文書

② 計画の目的（期待される効果）

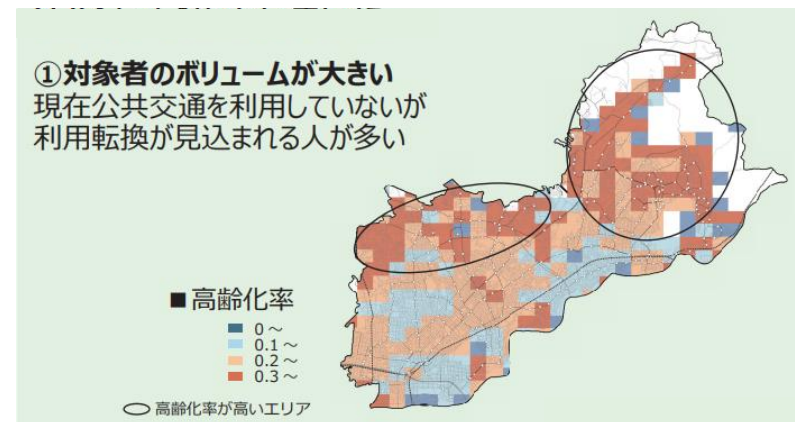
- 免許返納を控える高齢者へ、自動車に頼らなくても公共交通で安心して移動できることを知ってもらう(実際に利用してもらう)
- 外出が少ない人へ、外出を促す施策を打ち出し、健康や地域の活性化などにつなげる

③ 計画の内容

- 対象エリアの選定
 - データ分析からMMの効果大きいエリアとして選定
- ペルソナの設定
 - 典型的な公共交通の利用者／非利用者像をペルソナでイメージし、そのニーズを満たす施策を検討
- ロードマップの作成
 - 「だれに」「なにを」「なぜ」伝えるのか、また「働きかけの例」、「施策の評価」を各年度および各エリアごとに丁寧に整理

データ分析による
エリア選定を参考としたい

■MM実施計画におけるデータ分析の例



■MM実施計画におけるペルソナの例

エリア	ペルソナ		
ペルソナの具現化 一目でわかる代名詞+ランキング上位の名字で名付け →身近にこそなペルソナからイメージを膨らませることが出来る	モーニング通い 伊藤さん 	普段の移動・活動 ・自動車を世帯で2台保有し、免許の返納予定はなし ・自分で運転し、毎日モーニングの後に清水屋で買い物 公共交通へのアクセス ・丸田小学校区に移住し、名鉄バスシティバスのバス停まで200m ・バスは片道3本/時 モビリティへの思い ・昔はバスで通勤していたが、今はバス停も遠く、便数も少ないのでは？と感じている 期待する行動変容 ・バスを一度使ってみて、意外にもバスが充実していることがわかり、以前のようにバスを使って移動するようになる	移動のポテンシャル・制約 現在の移動状況やアクセシビリティを詳細に整理 →行動変容が可能かを議論できる 価値観 モビリティに対する意見を想定 →施策への反応の予想に活かせる 効果 施策実施後の行動・思考を明確に →施策の目的を確固たるものにできる
C	・65歳女性 ・2人暮らし		
	属性 年齢・性別だけでなく 世帯構成も重要		

短中期的な施策の実施計画策定例として参考としたい

2. MMプラン（仮）作成の意義：②さいたま市版

さいたま市におけるMMの解釈も踏まえて、MMプラン（仮）では

- ✓ 市のMMの方向性を示し、行政と関係者が限られた財源のなかで、無駄なく効率的・効果的に取り組むために
- ✓ MMの必要性を意識共有し、継続的に取り組むために

目的

日常的な移動を少しずつ変えていくために

コミュニケーションを中心とした働きかけを行ううえで**前提となる**

めざす目標 **実施対象に関する分析** **施策実施のヒント** **プランのスケジュール** を

行政と関係者で共有し連携を図ることで

公共交通の維持確保に向けた利用促進に向け、一体的な取り組みの実施を目的とします

意義

- ✓ 公共交通の維持確保に向けた利用促進へ、関係主体で一丸となって取り組むための **目標** を共有します
- ✓ 実施主体や関係主体が**MMに取り組みやすくなるように**、効果の大きいエリアや取組、地域の特徴、ターゲット、解決すべき課題などをデータ **分析** を踏まえて整理します
- ✓ 取組が**効率的・効果的に実施しやすくなるように** **施策実施のヒント** となる施策カルテを作成します
- ✓ 効果発揮に向け取組が**継続的に実施し**、関係主体間で**取組を横並びで知り連携を図れるように** **スケジュール** を共有します
- ✓ 上記により、**行政や民間事業者、市民が意識共有・連携するための指針となるような** **プラン** とします

3. MMプラン（仮）の構成案

- MMプラン（仮）は以下の構成とすることを想定します
<構成案>

1. はじめに

2. さいたま市がめざす目標

- さいたま市の現状：定量的な分析からさいたま市の現状を把握します
- さいたま市が目指す行動変容：本プランで目指す行動変容とそのプロセスを示します

3. MM実施対象に関する分析

- 地域・人の特徴：現状分析の重ね合わせから、MM実施の効果が大きいと想定される地域と人を整理します
- 施策の実施対象：MM実施の効果が大きいと想定される地域と人から、具体的なターゲットの具体化(ペルソナ)を整理します

4. 施策実施のヒント

- 施策カルテ：施策事例等から、施策の実施対象に取り組むことが想定される施策をカルテとして整理します

5. MMプランのスケジュール

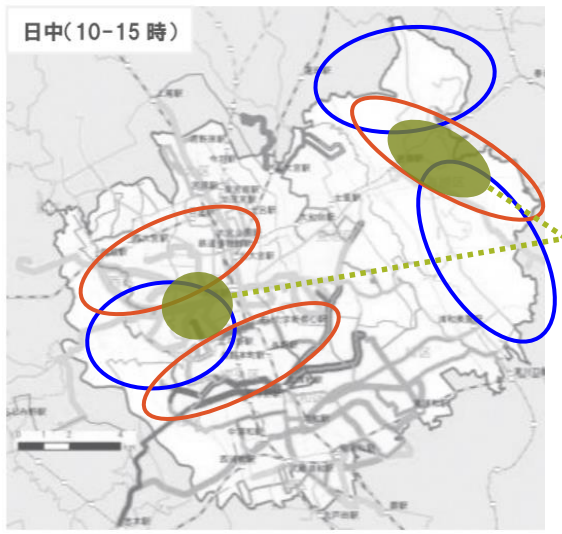
- 施策の実施スケジュール：現在実施及びこれから企画・計画されている取り組みを整理します

✓ 使われるプランとするために、
①ビジュアル的に全容を把握できるロードマップと
②データ・詳細を確認できる構成案
の2パターンで整理

✓ データ・詳細単独での利用も想定し、シンプルかつ具体的な整理をしつつ、見やすさと分かりやすさを意識

4. MMプラン（仮）の全容ロードマップイメージ

- ✓ 使われるプランとするために、
- ①ビジュアル的に全容を把握できるロードマップと
- ②データ・詳細を確認できる構成案 の2パターンで整理



エリアA	エリアB	エリアC	市内全域
高齢者	子育て世代	高校生	小学生
想定される施策 施策A 施策B 施策C	想定される施策 施策B 施策C	想定される施策 施策B 施策D	想定される施策 施策D



施策種類	実施対象	関係主体	R5	R6
施策A	エリアA 高齢者	交通政策課	◆	◆
	エリアB 高齢者	交通政策課 〇〇自治会	◆	◆
	エリアC 居住者	交通政策課 □〇自治会		◆
施策B	エリアB 就業者	交通政策課 健康増進課 〇〇バス		◆
	エリアC 高校生	交通政策課 〇〇バス		◆
施策C	全域	転入者	環境対策課	
施策D	〇〇高校	高校生	◆	◆
	市内小学校	小学生		◆

共有する

知る

取り組む

つなげる

5. MMプラン（仮）への記載イメージ：①分析

地域・人の特徴

- 2つの視点から施策の実施対象として想定される**地域や人(属性)**を整理します

○想定する視点と内容イメージ

視点1：サービス・インフラ等

- 公共交通（鉄道、路線バス等）のネットワーク
- 公共施設・集客施設

✓ **そもそも行動変容が起こり得る地域の洗い出し**

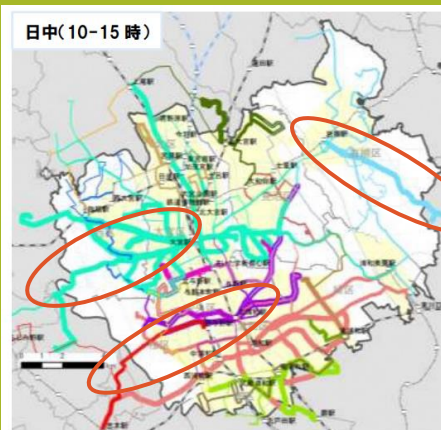
視点2：居住者・来訪者特性

- 居住者（年齢、就業・就学状況、自動車利用の割合）
- 来訪者（滞在目的（通勤、通学、イベント等））
- 転入者

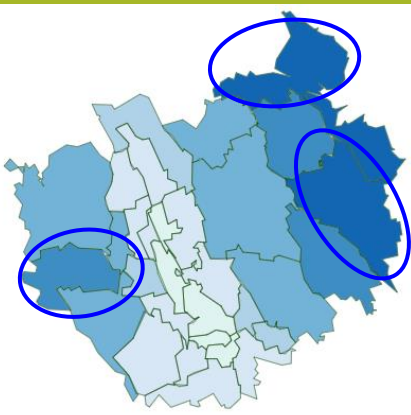
✓ **対象者のボリュームと行動変容率の大きい地域の洗い出し**

整理イメージ

公共交通ネットワーク

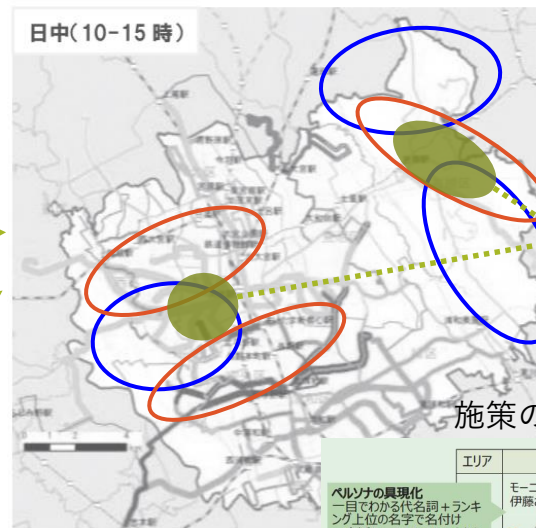


利用交通手段における自動車利用の割合



施策の実施対象

- MM実施の効果が大きいと想定される対象 **地域と人** を整理します



＜施策の実施対象の整理例＞
公共交通ネットワークが充実しているが、自動車利用が多いエリア

施策の実施対象の具体化（ペルソナ）

エリア	ペルソナ	
ペルソナの具現化 一目でわかる代名詞＋ランキング上位の名字で名付け →身近にいうペルソナからイメージを膨らませることができる	モーニング通い 伊藤さん 	普段の移動・活動 ・自動車を世帯で2台保有し、免許の返納予定はなし ・自分で運転し、毎日モーニングの後に清水屋で買い物 公共交通へのアクセス ・丸田小学校区に移住し、名鉄バスシティバスのバス停まで200m ・バスは片道3本/時 モビリティへの思い ・昔はバスで通勤していたが、今はバス停も遠く、便数も少ないのでは？と感じている 期待する行動変容 ・バスを一度使ってみて、意外にもバスが充実していることがわかり、以前のようにバスを使って移動するようになる
属性 年齢・性別だけでなく世帯構成も重要	C ・65歳女性 ・2人暮らし	移動のポテンシャル・制約 現在の移動状況やアクセシビリティを詳細に整理 →行動変容が可能なかを議論できる 価値観 モビリティに対する意見を想定 →施策への反応の予想に活かせる 効果 施策実施後の行動・思考を明確に →施策の目的を確固たるものにできる

施策A

施策B

施策C

施策の実施対象に対して、取り組むことが想定される施策をカルテとして整理

5. MMプラン（仮）への記載イメージ：②施策カルテ

施策カルテ

・ 施策の実施対象に対してアプローチする際に参考となる施策をカルテ形式で整理します

○ 施策カルテの内容案

・ 施策の概要 ・ 実施主体 ・ 実施対象 ・ 期待される効果 ・ 取り組みのヒント...など

■ 施策カルテのイメージ

✓ コミュニケーション手法は、実施対象により一長一短があるため、適切な取組を実施できるように実施対象（ペルソナ）にハマる施策を示す

A-1. 高校オープンスクールでの「お守り」デザインのリーフレット配布【群馬県】

- ✓ 群馬県では、高校生向けの公共交通利用促進の一環として、「合格祈願 エコ通学のススメ」リーフレットを作成し、新高校生となる中学3年生とその保護者に、高校のオープンスクールで配布
- ✓ 受験生の関心を引く、手に取ってもらえる、飾ってもらえる「合格祈願 お守り」デザイン

主体

群馬県県土整備部交通政策課

内容

1. 「合格祈願 エコ通学のススメ」リーフレットの作成・配布

対象

中学3年生
及び保護者

効果

- ✓ 高校生が通学手段を決める時に、保護者が関与している割合が高いことから、保護者向けのメッセージを盛り込むことで、公共交通への転換を効果的に促す工夫

「お守り」デザインのリーフレット



B-1. バス路線沿線住民への戸別訪問によるMM【十勝バス】

- ✓ 昭和44年をピークに平成22年時点では利用者が5分の1程度に減少
- ✓ 市内循環バスの利用者を増やそうと、社長を含めた役職員約30人が1人10戸を目安に、当該路線沿線の住民宅への戸別訪問を実施
- ✓ バスに乗らない理由を直接住民に対してヒアリングし、生の声を聞くことで「不便よりも不安だから利用できない」という非顧客の姿を捉えた

主体

十勝バス(株)

内容

1. バス路線沿線住民への戸別訪問
2. バスマップの作成・全世帯配布
3. 移動手段と目的地をパックにした企画商品「路線バスパック」の販売等

効果

- ✓ 平成23年度には40年ぶりに利用者数が増加

バスの乗り方を掲載したバスマップ



5. MMプラン（仮）への記載イメージ：③スケジュール

スケジュール

- ・ 施策の実施状況及びスケジュールを関係者で共有するためのスケジュールを整理します
- ・ スケジュールは、実際の実施状況にあわせて適時更新することを想定します



施策種類	実施対象		関係主体	R5	R6	R7	R8以降
対面による コミュニケーション	エリアA	高齢者	交通政策課	企画・計画 → 実施 → 評価	企画・計画 → 実施 → 評価	企画・計画 → 実施 → 評価	企画・計画 → 実施 → 評価
	エリアB	高齢者	交通政策課 〇〇自治会	企画・計画 → 実施 → 評価			
	エリアC	居住者	交通政策課 □□自治会		企画・計画 → 実施 → 評価		
WEBを用いた コミュニケーション	エリアB	就業者	交通政策課 健康増進課 〇〇バス		企画・計画 → 実施 → 評価		
	エリアC	高校生	交通政策課 〇〇バス		企画・計画 → 実施 → 評価		
紙面資料等を用いた コミュニケーション	全域	転入者	環境対策課	実施 (時期を設定) (適宜実施)			
学校教育	〇〇高校	高校生	交通政策課	企画・計画 → 実施 → 評価	企画・計画 → 実施 → 評価	企画・計画 → 実施 → 評価	企画・計画 → 実施 → 評価
	市内 小学校	小学生	交通政策課	実施 (時期を設定) (適宜実施)			

6. 今後の取り組みの進め方

- 本日意見交換させていただいた内容を踏まえて、
MMプラン（仮）の **構成案とロードマップ、記載イメージ等をより具体化し、**
第3回地域公共交通協議会において、MMプラン（仮）の **方向性** をとりまとめます
- 次年度以降は、今年度作成した方向性（構成案やロードマップ、記載イメージ等）を基に、
めざす目標 **実施対象に関する分析** **施策実施のヒント** **スケジュール** の検討を進め、
MMプラン（仮） を作成します

（上記、MMプラン（仮）作成の進捗に問わず）

- 既存施策を**継続し、改善・拡大するとともに、積極的に新たな施策に取り組みます**